

発熱外来

クリニックを受診される 患者さまへ



当院では引き続き、感染予防対策を強化して対応しています。そのため、来院時に発熱や上気道症状など新型コロナウイルス感染症を疑う症状があった場合は、まず「発熱外来」を受診していただいています(別途、診察料がかかります)。

- 医師の判断で新型コロナウイルスのPCR検査を施行した場合は、結果が出るまで亀田クリニックを受診することはできません。緊急の場合を除いて、翌日以降の受診となりますので、あらかじめご了承願います。なお、発熱外来で新型コロナウイルス感染症の可能性が低いと判断された場合は、同日にクリニックの受診が可能です。

ひきつづき、敷地内(駐車場含む)でのマスク着用や、検温、手指衛生等にもご協力をお願いいたします。

福祉用具専門相談員養成講習会のご案内

福祉用具のスペシャリスト「福祉用具専門相談員」に必要な知識とスキルを身につける講習会です。医療・福祉に関する資格をお持ちでない方も受講可能です。



日 時	2022年7月28日(木)～2022年8月25日(木)の間 8日間(概ね9:00～17:00)
会 場	亀田総合病院 継続学習センター 研修室
内 容	50時間 なお、1時間程度の修了試験があります。
受 講 料	27,000円(消費税込み・テキスト代金含む)
定 員	30名
申 込 締 切	2022年7月20日(水)締め切り
申 込 方 法	①履歴書(市販の物使用 B4サイズ、写真貼付) ②医療・福祉に関する資格をお持ちであれば 保有資格の修了証明書等の写し ③返信用封筒 (長形3号の封筒に94円切手貼付、宛先記入) 以上を郵送してください。 宛先 〒296-8602 鴨川市東町929 亀田総合病院 継続学習センター
選 考 方 法	書類選考後に受講決定通知書を発送いたします。
問 合 せ	月～金曜日 9:00～17:00(祝日を除く) TEL: 04-7099-1165(直通)

新型コロナウイルスワクチン



3・4回目接種 予約受付中

接種会場 亀田クリニック(受付:1階、接種:3階)

接種日時 毎週金・土曜日(祝日を除く)
14:00～16:00

使用ワクチン 武田/モデルナ社ワクチン

インターネット予約



左記QRコードまたはホームページ
(<http://www.kameda.com/ja/clinic/>) から予約画面の案内に従って
お申込みください。

※メールアドレスと接種券一体型予診票が必要です

※ガラケーからの申し込みはできません

電話予約

予約電話番号 04-7099-1330

対応日時 水・木・金曜日(祝日を除く) 14:00～16:00

※ご予約には診察券と接種券一体型予診票が必要です

※おかけ間違いのないようご注意ください

bayfm「MEDICAL UPDATES」

FM ラジオ局ベイエフエムの午後のワイド番組『it!! (イット)』では、毎週火曜日の午後3時から、当院のスタッフが出演する「MEDICAL UPDATES」のコーナーが好評放送中です。7月は感染症科部長の細川直登医師が「新型コロナワクチン」をテーマにお話しいたします。

防災訓練を実施しました

いざという時に備えるため、6月18日(土)午後から、職員による2022年度春季防災訓練を実施しました。

今回はKタワー4階で火災が発生したケースを想定し、出火階と直上階のスタッフを中心に、火災の発見から通報・消火・避難までの総合訓練と、非常



放送設備を使用した放送訓練を行いました。

また、新入職員などによる消火器や消火栓を用いた初期消火訓練も行われ、防災への意識を高めました。



漢方のチカラ

東洋医学診療科 南澤 潔

第4話 魔法か まやかしか2



前回「^{わら}薬にもすぎる気持ちで受診した」と、溺れた時につかまるのに薬くらい頼らないと患者さまに思われていたお話をしました。それが偽らざる本音でしょう…。

今でこそ多くの医師が漢方薬を診療にうまく取り入れて効果を上げていますが、ちょっと前までは「漢方なんてまやかしかだ」「あんなものおまじないだ」と公言する医師は珍しくありませんでした。一方で、一部の患者さまは「漢方はがんでも、糖尿病でも、高血圧でも、何にでも効くし、免疫も高まるんですね?!」と、まるで魔法か何かのように思われていることもありました。

漢方に対する評価は不思議と両極端に分かれがちです。もちろんどちらも間違いです。漢方はおそらく数万年もの時間をかけて我々人類の祖先が積み上げてきた、人間の様々な病気の状態を改善させる天然の薬物の組み合わせ(レシピ)や使い方に関する経験知の集積を活用する、現代医学とは異なる「医学体系」です。

病気の原因や人間の心身の仕組みや構造についての基本的な知識のない時代、今なら当たり前の血液検査や画像検査など何もありませんでした。その当時できたことは、病人の状態をひたすらしっかり観察することでした。今のように細かな検査やモニター機器は利用できませんから、観察は外から視たり体表部分を触れたりして行います。

体の中で病気との戦いとして起こる様々な反応が、複合的に顔色だったり脈や舌、お腹の変化として現れるのを観察するので、病人の状態を細かな点としてではなく、それらが総括されたものを総合的に俯瞰的に捉えることになります。この、人間の心身で起こる変化を総合的に

観察することが、体の変化を分析的に細かく掘り下げて調べていく現代医学と対極的なアプローチとして今、役に立っているのですね。

細かく調べても原因のわからない不調はしばしば「^{ふていしゅうそ}不定愁訴」と言われてしまいます。現代医学的には対処のしようがない、なかなか困ったものですが、患者さまとしては辛いわけですし、それを治せない医療者側も辛いものです。ところがそんなとき、漢方的な視点から見るとごくごく普通に「異常」が見つかることがあるのです。

例えば最近マスコミなどでも取り上げられている気象病と言われる体調不良。天候悪化に伴って頭痛や目眩、肩こり、関節痛、気が滅入る…などの症状がでるようです。原因不明の体調不良で不安だった人達も多いことでしょう。気圧や湿度の影響だとわかれば安心かもしれませんが、現代医学をもってしても、これに総合的に対処する良い方法はありません。

ところが漢方の世界では、「水滯(水毒)」といって体内の水の代謝がきちんとできていないものを指す疾患概念があり、こういった症状に実によく効く一連の漢方薬が知られています。

気圧や湿度が体にどのようなメカニズムで不調をきたすのかはまだ科学的にはよくわかっていませんが、東洋医学の視点から総合的に捉えることで対応が可能になる、一つの典型的なケースです。

上記のような症状に悩まれている方がいらしたら、ぜひ東洋医学診療科を受診なさってみてください。

当科は初めての患者さまの診療には30分以上、ときには1時間近くかかるため完全予約制とさせていただいており、当日の予約はほとんど取れません。必ず初診予約をお取りいただいてから来院されるようお願いいたします。



医師紹介

よしだ あきひと
吉田 明人 医師

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①総合内科(医長)
卒後研修センターセンター長補佐
- ②総合内科
- ③スポーツ観戦
- ④誠実に丁寧に診療することをこころがけます。



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <http://www.kameda.com>